

変更指示書

工事名.....山梨大学(武田1)薬品庫等改修工事

凡例： 変更箇所

山 梨 大 学 施 設 ・ 環 境 部			
部 長	課 長	補 佐	担 当

山梨大学(武田1)薬品庫等改修工事

変更指示書

No	図面番号	変更前	No	変更後
1	特-1 A-5 A-6 A-7	記載なし	1	倉庫の入り口にスロープを設ける。
2	A-6	縦樋(既存のまま)	2	倉庫のブース2とブース3の入り口に鎖樋を設ける。
3	A-7	倉庫の既設屋根と下段コンクリートとの間の立上りについて、立面図と断面図に整合性がない。	3	断面図により整合性を図った。
4	A-2 A-3	臥梁上部分、下地調整の上、複層薄塗材E吹付け	4	高圧ポンプ水洗いの上、下地調整、複層薄塗材E吹付けとする。
5				
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

建築改修工事特記仕様書																																																							
工事概要																																																							
工事名称	山梨大学（武田1）薬品庫等改修工事																																																						
工事場所	山梨県甲府市武田四丁目4-37 山梨大学武田1団地構内																																																						
完成期限	平成27年3月6日（金）																																																						
工事の種類・規模等	<table border="1"> <tr> <th>棟名称</th> <th>薬品庫</th> <th>倉庫</th> <th></th> <th></th> </tr> <tr> <td>工種</td> <td>改修</td> <td>改修</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>構造・階数</td> <td>B1</td> <td>B1</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>建築面積</td> <td>47 m²</td> <td>33 m²</td> <td>m²</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>延べ面積</td> <td>47 m²</td> <td>33 m²</td> <td>m²</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>改修延べ面積</td> <td>(47) m²</td> <td>(33) m²</td> <td>m²</td> <td>m²</td> </tr> <tr> <td>延べ面積計</td> <td colspan="4">80 m²</td> </tr> <tr> <td>改修延べ面積計</td> <td colspan="4">(80) m²</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">模様替内容</td> <td colspan="4">外壁改修、建具改修、内装改修</td> </tr> <tr> <td colspan="4">塗装改修、外構改修</td> </tr> <tr> <td>工作物等</td> <td colspan="4"></td> </tr> </table>	棟名称	薬品庫	倉庫			工種	改修	改修			構造・階数	B1	B1			建築面積	47 m ²	33 m ²	m ²	m ²	延べ面積	47 m ²	33 m ²	m ²	m ²	改修延べ面積	(47) m ²	(33) m ²	m ²	m ²	延べ面積計	80 m ²				改修延べ面積計	(80) m ²				模様替内容	外壁改修、建具改修、内装改修				塗装改修、外構改修				工作物等				
棟名称	薬品庫	倉庫																																																					
工種	改修	改修																																																					
構造・階数	B1	B1																																																					
建築面積	47 m ²	33 m ²	m ²	m ²																																																			
延べ面積	47 m ²	33 m ²	m ²	m ²																																																			
改修延べ面積	(47) m ²	(33) m ²	m ²	m ²																																																			
延べ面積計	80 m ²																																																						
改修延べ面積計	(80) m ²																																																						
模様替内容	外壁改修、建具改修、内装改修																																																						
	塗装改修、外構改修																																																						
工作物等																																																							
一般特記事項																																																							
総則	<p>1. この工事の受注者は、国立大学法人山梨大学工事請負契約細則別記の工事請負契約基準、現場説明書、特記仕様書 2 枚、図面 8 枚、（特記を除く）公共建築工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（平成25年版）、文部科学省建築工事標準仕様書（特記基準）（平成25年版）、公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（平成25年版）、文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）（平成25年版）及び工事写真撮影要領に基づき工事を施工する。</p> <p>2. 特記仕様書の適用方法</p> <p>(1) ・印で始まる事項及び表中の○印の付した事項のみ適用する。</p> <p>(2) <u> </u> で抹消した章及び項目の当該特記事項は、すべて適用しない。</p> <p>(3) 表中の数字、文字又は記号を記入する事項は、記入してある事項のみ適用する。</p> <p>(4) 特記された材料、製造所、製品名、施工業者等の取扱い、特記されたもの又は同等以上のものとする。ただし、同等以上のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>(5) 左欄の（ ）、（（ ）） 内の数値は、下記の各該当番号を示す。</p> <p>（ ） - 公共建築工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（平成25年版）</p> <p>（（ ）） - 文部科学省建築工事標準仕様書（特記基準）（平成25年版）</p> <p><> - 公共建築改修工事標準仕様書（統一基準）（建築工事編）（平成25年版）</p> <p><<> - 文部科学省建築改修工事標準仕様書（特記基準）（平成25年版）</p>																																																						
建築基準法に基づき定められた区分等	建築基準法に基づき定められた区分等																																																						
風速	V0 ≒ 3.0 m/s																																																						
地表面粗度区分	I II ⊙ III IV																																																						
積雪区分	告示第1455号 別表 27区域																																																						
	垂直積雪深度：500 mm																																																						
1章 一般共通事項																																																							
(1.2.1) 実施工一表	既成工期 平成 年 月 日（ 曜日）																																																						
(1.3.3) 電気保安技術者	この工事現場に下記いずれかの資格を有する電気保安技術者を選任する。																																																						
	<table border="1"> <tr> <th>項目名</th> <th>電気保安技術者</th> </tr> <tr> <td>1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>2 1級電気工事施工管理技士以上の資格を有する者</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に關する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>4 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>6 第1種電気工事士の資格を有する者</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>7 2級電気工事施工管理技士以上の資格を有する者</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>8 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者</td> <td>.</td> </tr> <tr> <td>9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に關する科目を修めて卒業した者</td> <td>.</td> </tr> </table>	項目名	電気保安技術者	1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	.	2 1級電気工事施工管理技士以上の資格を有する者	.	3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に關する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	.	4 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	.	5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	.	6 第1種電気工事士の資格を有する者	.	7 2級電気工事施工管理技士以上の資格を有する者	.	8 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者	.	9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に關する科目を修めて卒業した者	.																																		
項目名	電気保安技術者																																																						
1 第3種電気主任技術者以上の資格を有する者	.																																																						
2 1級電気工事施工管理技士以上の資格を有する者	.																																																						
3 高等学校又はこれらと同等以上の教育施設において、電気事業法の規定に基づく主任技術者の資格等に關する省令第7条第1項各号の科目を修めて卒業した者	.																																																						
4 旧電気工事技術者検定規則による高圧電気工事技術者の検定に合格した者	.																																																						
5 公益事業局長又は通商産業局長の指定を受けた高圧試験に合格した者	.																																																						
6 第1種電気工事士の資格を有する者	.																																																						
7 2級電気工事施工管理技士以上の資格を有する者	.																																																						
8 第2種電気工事士（旧電気工事士）以上の資格を有する者	.																																																						
9 短期大学若しくは高等専門学校又はこれらと同等以上の教育施設の電気工学以外の工学に関する学科において一般電気工学（実験を含む）に關する科目を修めて卒業した者	.																																																						

(1.3.5) 施工条件	この工事現場では、次の施工条件による。						
(1.3.8) 発生材の処理等	<p>① 工期中、検査・試験・入試等に配慮し騒音を伴う工事は、予め監督職員と協議する。</p> <p><u>引渡しを要するもの</u> <u>特別管理産業廃棄物</u> (1) 品名：石綿スレート板 (2) 処理方法：廃棄物処理法施行令による現場において再利用を図るもの (1) 品名：コンクリート塊 スモール製建具 塵：スチール <u>アスファルト</u></p> <p><u>再生資源化を図るもの</u> (1) 品名： (2) 投入場所： (3) 搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 (4) 且々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出證書を作成し、監督職員に提出する。 (5) 工事発注後に明らかになった電情により、上記の指定によりがない場合は、監督職員と協議する。</p> <p>関係法令に従い適切に処分するもの (1) 品名：建設廃材（木くず・廃ガラスモック） (2) 投入場所： (3) 搬出に先立ち搬出計画書を作成し、監督職員に提出する。 (4) 且々の搬出量等をとりまとめた土砂等搬出證書を作成し、監督職員に提出する。 (5) 工事発注後に明らかになった電情により、上記の指定によりがない場合は、監督職員と協議する。</p>						
(1.3.11) 施工中の環境保全等	<p>低騒音型・低振動型建設機械の使用</p> <p>排出ガス対策型建設機械</p>						
(1.6.4) 一工程の施工の確認及び報告	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次に示す工程については、施工の確認及び報告を監督職員に行うものとする。						
(1.6.5) 施工の検査等	標準仕様書に定めがあるもの以外で、次について監督職員の検査を受ける。						
(1.8.2) 完成図	完成図の種類及び記入内容は次による。						
	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>記入要領</th> </tr> <tr> <td>施工図 1部</td> <td>監督職員の指示による</td> </tr> <tr> <td>完成図 1部</td> <td>監督職員の指示による</td> </tr> </table> <p>完成図の様式等は次による。</p> <p>作成方法 施工図及び完成図は二折り製本及びCADデータとする。この他詳細な事項は監督職員の指示による。</p> <p>原図サイズ A3 A3各4部製本提出</p> <p>工事写真帳は（ ⊙ 紙媒体 ⊙ 電子媒体 ）で 1 部提出する。</p>	種類	記入要領	施工図 1部	監督職員の指示による	完成図 1部	監督職員の指示による
種類	記入要領						
施工図 1部	監督職員の指示による						
完成図 1部	監督職員の指示による						

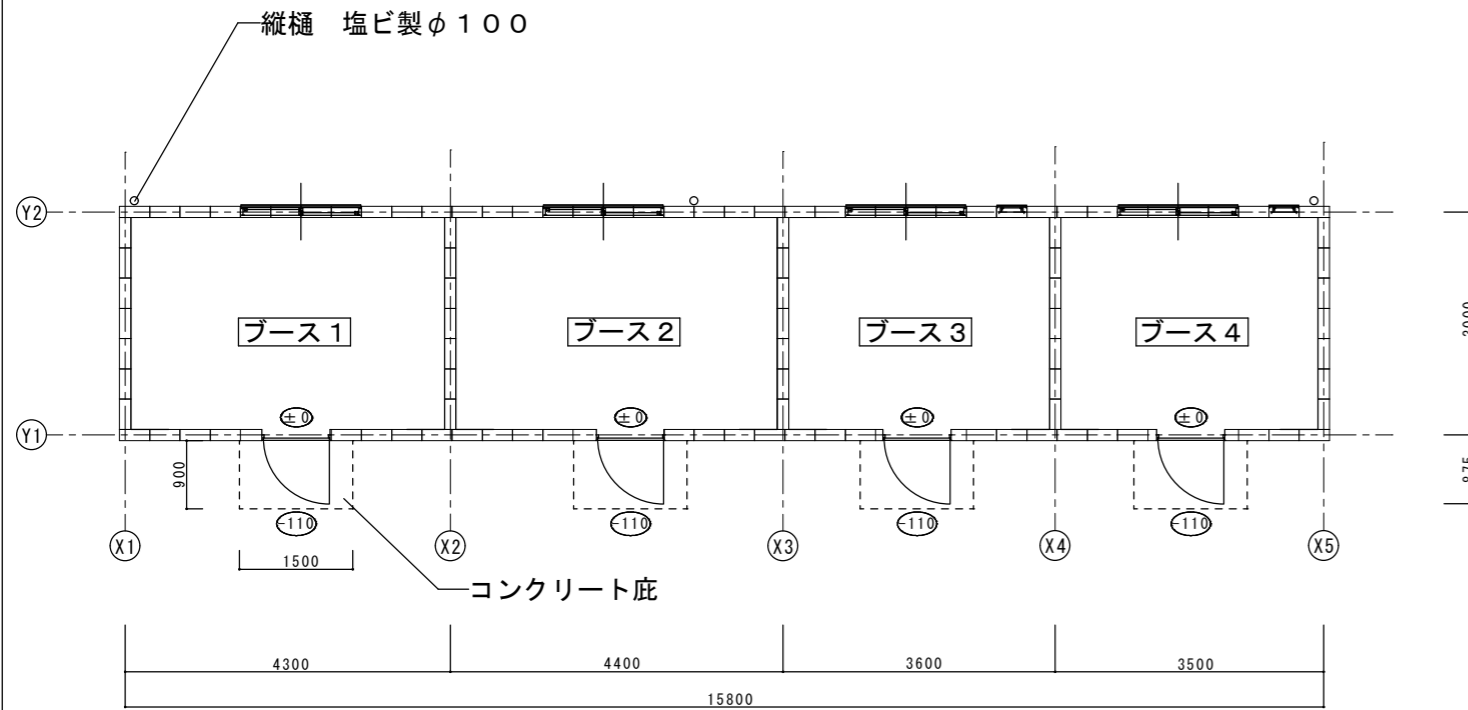
	<p>完成写真はキャビネ版とし黒表紙、工事名称等は金文字入りとする。 なお、完成写真には撮影方向等を明示した配置図、平面図を添付する。 本工事は、次の書類について電子納品の対象とする。 ・完成写真、完成図、施工図</p> <p>貸与する設計図のCADデータ著作権者： 本学 ファイル形式： JWW</p> <p>貸与条件：貸与するCADデータを本工事における施工図又は完成図の作成のために以外に使用しないこと。</p> <p>提出方法： 提出媒体 CD-R ラベルには工事名、収納データ名、工期、施工者名を表示すること。 ・ファイル形式 ・図面ファイル：JWW 及び PDF ・工事写真及び完成写真：JPG</p>																																												
(1.8.3) 保全に関する資料	保全に関する資料 提出部数 ⊙ 2 部																																												
工事区分	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="4">区分</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>建</th> <th>機</th> <th>土</th> <th></th> </tr> <tr> <td>名称</td> <td>築</td> <td>気</td> <td>械</td> <td>木</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コンクリート穴あけ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>ポイド等</td> </tr> <tr> <td>開口部埋め</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	項目	区分				備考	建	機	土		名称	築	気	械	木		コンクリート穴あけ	○	○	○		ポイド等	開口部埋め	○																				
項目	区分				備考																																								
	建	機	土																																										
名称	築	気	械	木																																									
コンクリート穴あけ	○	○	○		ポイド等																																								
開口部埋め	○																																												
2章 仮設工事																																													
(2.2.1) 足場その他	<p>足場を設ける場合は、手すり据置き方式又は手すり先行専用足場方式とする。また、併せて、足場の外側及び内側（躯体側）の両方に手すり、中さん及び幅木の機能を有するものを設置することとし、幅木はメッシュシート、防音シート及び防網等の有無の関わらず設置すること。</p> <p>工事の実施にあたっては周辺環境を十分考慮し低騒音・低振動の工法及び建設機械を選定するとともに、事前に施工計画書を監督職員に提出し承諾を得ること。</p>																																												
3章 防水改修工事																																													
(3.6.3) 種別及び工程	<p>塗膜防水の防水層の種類</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○X-1</td> <td>薬品庫底、倉庫底、倉庫屋根（コンクリート部）</td> </tr> </table> <p>脱気装置 脱気装置を適用する場合は、種類及び設置数量を特記する。</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>設置数量</th> </tr> <tr> <td>・平面部脱気型</td> <td>・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス</td> <td>個/ m²</td> </tr> <tr> <td>・立上がり部脱気型</td> <td>・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅</td> <td>個/ m²</td> </tr> </table>	種別	施工箇所	○X-1	薬品庫底、倉庫底、倉庫屋根（コンクリート部）	種類	材質	設置数量	・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス	個/ m ²	・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	個/ m ²																															
種別	施工箇所																																												
○X-1	薬品庫底、倉庫底、倉庫屋根（コンクリート部）																																												
種類	材質	設置数量																																											
・平面部脱気型	・ポリエチレン樹脂 ・ABS樹脂 ・ステンレス	個/ m ²																																											
・立上がり部脱気型	・合成ゴム ・塩化ビニル樹脂 ・ステンレス ・銅	個/ m ²																																											
(3.8.2) 材料	<p>この材料</p> <ul style="list-style-type: none"> 配管用銅管 硬質塩化ビニル管 アルミ押出形材 																																												
4章 外壁改修工事																																													
外壁劣化状況調査	外壁改修部分について、全面打診及び目視により劣化状況の調査を行い監督職員と改修範囲の協議を行う。																																												
(4.2.2) 工法別使用材料	<p>ひび割れ部充てん材</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>種類</th> <th>寸法</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・シーリング材</td> <td>ウレタン材充填工法</td> <td>1.0mm以上</td> <td>外壁ひび割れ部</td> </tr> <tr> <td>・可とう性エポキシ樹脂</td> <td>手動式 エポキシ樹脂注入</td> <td>0.3~1.0mm</td> <td>外壁ひび割れ部</td> </tr> </table> <p>可とう性エポキシ樹脂の製造所、製品名 欠損部充てん材</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>製造所、製品名</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>○エポキシ樹脂モルタル</td> <td></td> <td>倉庫</td> </tr> <tr> <td>・ポリマーセメントモルタル</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><u>注入併用工法の注入材料</u></p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>製造所、製品名</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>・エポキシ樹脂</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ポリマーセメントスラリー</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p><u>タイル形状・寸法、きじの費及び工法等</u></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>きじ</th> <th>わたり役物</th> <th>色</th> <th>工法</th> <th>製造所・製品名</th> </tr> <tr> <td>スロープ</td> <td>150×150</td> <td>.</td> <td>.</td> <td>.</td> <td>.</td> <td></td> </tr> </table>	種別	種類	寸法	施工箇所	・シーリング材	ウレタン材充填工法	1.0mm以上	外壁ひび割れ部	・可とう性エポキシ樹脂	手動式 エポキシ樹脂注入	0.3~1.0mm	外壁ひび割れ部	種別	製造所、製品名	施工箇所	○エポキシ樹脂モルタル		倉庫	・ポリマーセメントモルタル			種別	製造所、製品名	施工箇所	・エポキシ樹脂			・ポリマーセメントスラリー			施工箇所	形状寸法(mm)	きじ	わたり役物	色	工法	製造所・製品名	スロープ	150×150	
種別	種類	寸法	施工箇所																																										
・シーリング材	ウレタン材充填工法	1.0mm以上	外壁ひび割れ部																																										
・可とう性エポキシ樹脂	手動式 エポキシ樹脂注入	0.3~1.0mm	外壁ひび割れ部																																										
種別	製造所、製品名	施工箇所																																											
○エポキシ樹脂モルタル		倉庫																																											
・ポリマーセメントモルタル																																													
種別	製造所、製品名	施工箇所																																											
・エポキシ樹脂																																													
・ポリマーセメントスラリー																																													
施工箇所	形状寸法(mm)	きじ	わたり役物	色	工法	製造所・製品名																																							
スロープ	150×150																																								

	<p>※施工箇所の下線は、耐凍割性があるものを示す。</p> <p>試験張 行う ⊙行わない 見本焼き 行う ⊙行わない</p> <p>塗膜はく離材 製造所、製品名</p>																																												
仕上塗材	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>仕上げの形状・工法等</th> </tr> <tr> <td>○薄付け仕上塗材</td> <td>外装薄塗材 S ・可とう形外装薄塗材 S i ○外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E 防水形外装薄塗材 E 外装薄塗材 C 内装薄塗材 L 内装薄塗材 S i 内装薄塗材 E 内装薄塗材 W</td> <td>仕上げの形状 ○砂壁状・ゆず肌状 ・平たん状・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・京壁じゅらく 工法 ○吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・厚付け仕上塗材</td> <td>外装厚塗材 C 外装厚塗材 S i 外装厚塗材 E 内装厚塗材 C 内装厚塗材 L 内装厚塗材 G 内装厚塗材 S i 内装厚塗材 E</td> <td>仕上げの形状 ・平たん状・凹凸状 ・吹付け・凸部処理 ・ひき起こし・かき落とし 工法 ・吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り</td> </tr> <tr> <td>・複層仕上塗材</td> <td>複層塗材 C E 複層塗材 S i 複層塗材 E ・可とう形複層塗材 C E 防水形複層塗材 C E 防水形複層塗材 E 防水形複層塗材 R E 防水形複層塗材 R S</td> <td>仕上げの形状 ・ゆず肌状・凹凸模様・凸部処理 工法 ・吹付け・ローラー塗り 耐感性 ・耐候形1種・耐候形2種 上塗り材の種類 樹脂 ・アクリル系・シリカ ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系・ふっ素系 外観 ・つやあり・つやなし・ツヤツク 触媒 ・溶剤系・弱溶剤系・水系</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E</td> <td>仕上げの形状 ・ゆず肌状・平たん状・さざ波状 工法 ・吹付け・ローラー塗り</td> </tr> </table> <p>・軽量骨材仕上塗材（ ・吹付け用軽量塗材 ・こて塗用軽量塗材）</p>	種類	呼び名	仕上げの形状・工法等	○薄付け仕上塗材	外装薄塗材 S ・可とう形外装薄塗材 S i ○外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E 防水形外装薄塗材 E 外装薄塗材 C 内装薄塗材 L 内装薄塗材 S i 内装薄塗材 E 内装薄塗材 W	仕上げの形状 ○砂壁状・ゆず肌状 ・平たん状・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・京壁じゅらく 工法 ○吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り	・厚付け仕上塗材	外装厚塗材 C 外装厚塗材 S i 外装厚塗材 E 内装厚塗材 C 内装厚塗材 L 内装厚塗材 G 内装厚塗材 S i 内装厚塗材 E	仕上げの形状 ・平たん状・凹凸状 ・吹付け・凸部処理 ・ひき起こし・かき落とし 工法 ・吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り	・複層仕上塗材	複層塗材 C E 複層塗材 S i 複層塗材 E ・可とう形複層塗材 C E 防水形複層塗材 C E 防水形複層塗材 E 防水形複層塗材 R E 防水形複層塗材 R S	仕上げの形状 ・ゆず肌状・凹凸模様・凸部処理 工法 ・吹付け・ローラー塗り 耐感性 ・耐候形1種・耐候形2種 上塗り材の種類 樹脂 ・アクリル系・シリカ ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系・ふっ素系 外観 ・つやあり・つやなし・ツヤツク 触媒 ・溶剤系・弱溶剤系・水系	・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E	仕上げの形状 ・ゆず肌状・平たん状・さざ波状 工法 ・吹付け・ローラー塗り																													
種類	呼び名	仕上げの形状・工法等																																											
○薄付け仕上塗材	外装薄塗材 S ・可とう形外装薄塗材 S i ○外装薄塗材 E ・可とう形外装薄塗材 E 防水形外装薄塗材 E 外装薄塗材 C 内装薄塗材 L 内装薄塗材 S i 内装薄塗材 E 内装薄塗材 W	仕上げの形状 ○砂壁状・ゆず肌状 ・平たん状・凹凸状 ・さざ波状 ・着色骨材砂壁状 ・砂壁状じゅらく ・京壁じゅらく 工法 ○吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り																																											
・厚付け仕上塗材	外装厚塗材 C 外装厚塗材 S i 外装厚塗材 E 内装厚塗材 C 内装厚塗材 L 内装厚塗材 G 内装厚塗材 S i 内装厚塗材 E	仕上げの形状 ・平たん状・凹凸状 ・吹付け・凸部処理 ・ひき起こし・かき落とし 工法 ・吹付け ・ローラー塗り ・こて塗り																																											
・複層仕上塗材	複層塗材 C E 複層塗材 S i 複層塗材 E ・可とう形複層塗材 C E 防水形複層塗材 C E 防水形複層塗材 E 防水形複層塗材 R E 防水形複層塗材 R S	仕上げの形状 ・ゆず肌状・凹凸模様・凸部処理 工法 ・吹付け・ローラー塗り 耐感性 ・耐候形1種・耐候形2種 上塗り材の種類 樹脂 ・アクリル系・シリカ ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系・ふっ素系 外観 ・つやあり・つやなし・ツヤツク 触媒 ・溶剤系・弱溶剤系・水系																																											
・可とう形改修用仕上塗材	・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E	仕上げの形状 ・ゆず肌状・平たん状・さざ波状 工法 ・吹付け・ローラー塗り																																											
5章 建具改修工事																																													
(5.4.2) 性能及び構造	外部に面する鋼製建具の耐風圧性 S-5																																												
(5.7.2) 材質、形状及び寸法	<p>建具用金物</p> <table border="1"> <tr> <th>スイングドア、スイングサッシの金物の種類</th> <th>バックセット (mm)</th> <th>製作所</th> </tr> <tr> <td>・モノロック</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・本締り付モノロック</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>○シリンドア箱錠（レバーハンドルを含む）</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・窓錠</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・押棒、押板</td> <td>—</td> <td></td> </tr> </table>	スイングドア、スイングサッシの金物の種類	バックセット (mm)	製作所	・モノロック			・本締り付モノロック			○シリンドア箱錠（レバーハンドルを含む）			・窓錠			・押棒、押板	—																											
スイングドア、スイングサッシの金物の種類	バックセット (mm)	製作所																																											
・モノロック																																													
・本締り付モノロック																																													
○シリンドア箱錠（レバーハンドルを含む）																																													
・窓錠																																													
・押棒、押板	—																																												
(5.7.4) 鍵	<p>マスターキー ・作製する ⊙作製しない</p> <p>グランドマスターキー ・作製する ⊙作製しない</p>																																												
(5.13.2) 材料	<p>強化ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスの種類</th> <th>材料板ガラス</th> </tr> <tr> <td>フロート板ガラス</td> <td>・フロートガラス ・熱線吸収フロートガラス ・磨き板ガラス ・熱線吸収磨き板ガラス</td> </tr> <tr> <td>板強化ガラス</td> <td>・フロートガラス</td> </tr> </table> <p>熱線吸収板ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>材料板ガラスの種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> </tr> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン</td> </tr> </table> <p>熱線反射板ガラス</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>材料板ガラスの種類</th> <th>日射熱達率の区分</th> <th>反射皮膚の使い方</th> <th>色調</th> <th>映像調整</th> </tr> <tr> <td>・熱線反射ガラス</td> <td>・7+7板ガラス</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> <td>・内面 ・外面</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー</td> <td>・行う</td> </tr> </table> <p>素材が強化又は倍強度ガラスの場合の製造所</p> <p>ガラス溝の寸法、形状等</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ガラス厚 (mm)</th> <th>面クリアランス</th> <th>エッジクリアランス</th> <th>振り代</th> </tr> <tr> <td>・強化ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・倍強度ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・学校用強化ガラス</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	材料板ガラスの種類	材料板ガラス	フロート板ガラス	・フロートガラス ・熱線吸収フロートガラス ・磨き板ガラス ・熱線吸収磨き板ガラス	板強化ガラス	・フロートガラス	材料板ガラスの種類	厚さ (mm)	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン	種類	材料板ガラスの種類	日射熱達率の区分	反射皮膚の使い方	色調	映像調整	・熱線反射ガラス	・7+7板ガラス	・1種 ・2種 ・3種	・内面 ・外面	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー	・行う	種類	ガラス厚 (mm)	面クリアランス	エッジクリアランス	振り代	・強化ガラス					・倍強度ガラス					・学校用強化ガラス				
材料板ガラスの種類	材料板ガラス																																												
フロート板ガラス	・フロートガラス ・熱線吸収フロートガラス ・磨き板ガラス ・熱線吸収磨き板ガラス																																												
板強化ガラス	・フロートガラス																																												
材料板ガラスの種類	厚さ (mm)	色調																																											
・熱線吸収フロート板ガラス	・	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・グリーン																																											
種類	材料板ガラスの種類	日射熱達率の区分	反射皮膚の使い方	色調	映像調整																																								
・熱線反射ガラス	・7+7板ガラス	・1種 ・2種 ・3種	・内面 ・外面	・ブルー ・グレー ・ブロンズ ・シルバー	・行う																																								
種類	ガラス厚 (mm)	面クリアランス	エッジクリアランス	振り代																																									
・強化ガラス																																													
・倍強度ガラス																																													
・学校用強化ガラス																																													
(5.13.3) ガラス溝の寸法、形状等																																													

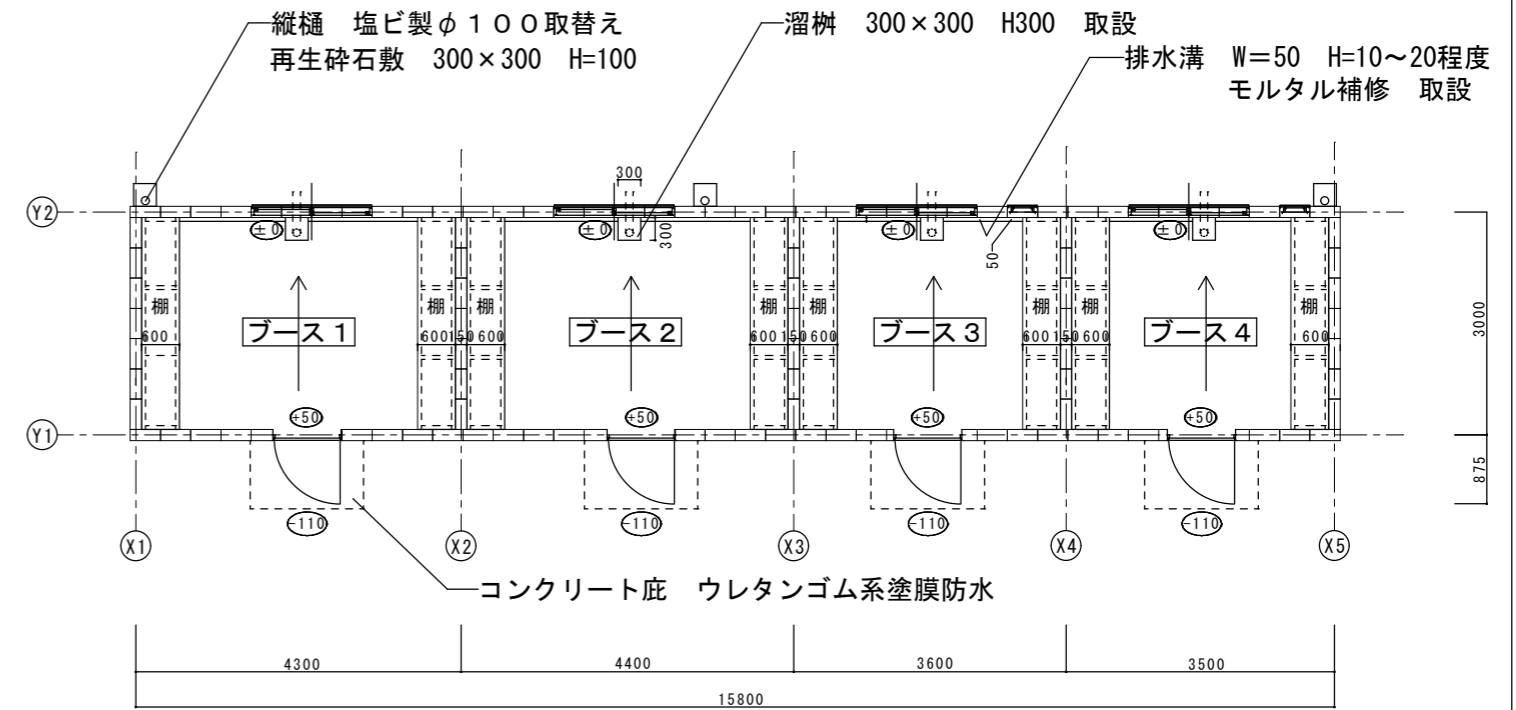
工事名		山梨大学（武田1）薬品庫等改修工事				図面名称・縮尺		特記仕様書（1）		図面番号	
						部長 課長 補佐 担当		平成26年 9月		<input checked="" type="checkbox"/> 特記 <input type="checkbox"/> A意匠 <input type="checkbox"/> C外講 <input type="checkbox"/> S構造	
		山梨大学 施設・環境部				平成26年 9月		■特記 □A意匠 □C外講 □S構造		特一1	

外部仕上表						
屋根	改修前 : 波形石綿スレート	外部窓	改修前 : 鋼製窓	縦樋	改修前 : 塩ビ製φ100	
	改修後 : 既設撤去の上、折板ガリバリウム塗装鋼板 厚0.6 新設 (ホリゾント4裏張り)		改修後 : SOP塗替り (下地処理共)		改修後 : 塩ビ製φ100取替え	
外壁	改修前 : コンクリートブロック壁	外部庇	改修前 : モルタル防水			
	改修後 : 高圧ポンプ水洗いの上、下地調整、複層薄塗材E吹付け		改修後 : 高圧ポンプ水洗いの上、ウレタンゴム系塗膜防水			
外部扉	改修前 : 鋼製扉	軒樋	改修前 : 塩ビ製半円形φ100			
	改修後 : 既設撤去のうえ鋼製建具 (特定防火設備) 新設		改修後 : 塩ビ製角樋 (折板用) W=120			

内部仕上表								
階	室名	床		壁		天井		備考
		改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	
1	ブース1	コンクリート打ちはなし	モルタル塗り	コンクリートブロック壁	既存のまま	屋根表わし	新設屋根表わし	鋼製棚取設
			エポキシ樹脂塗 (耐薬品性)					
	ブース2	コンクリート打ちはなし	モルタル塗り	コンクリートブロック壁	既存のまま	屋根表わし	新設屋根表わし	鋼製棚取設
			エポキシ樹脂塗 (耐薬品性)					
	ブース3	コンクリート打ちはなし	モルタル塗り	コンクリートブロック壁	既存のまま	屋根表わし	新設屋根表わし	鋼製棚取設
			エポキシ樹脂塗 (耐薬品性)					
	ブース4	コンクリート打ちはなし	モルタル塗り	コンクリートブロック壁	既存のまま	屋根表わし	新設屋根表わし	鋼製棚取設
			エポキシ樹脂塗 (耐薬品性)					
								排水溝 W=50 取設

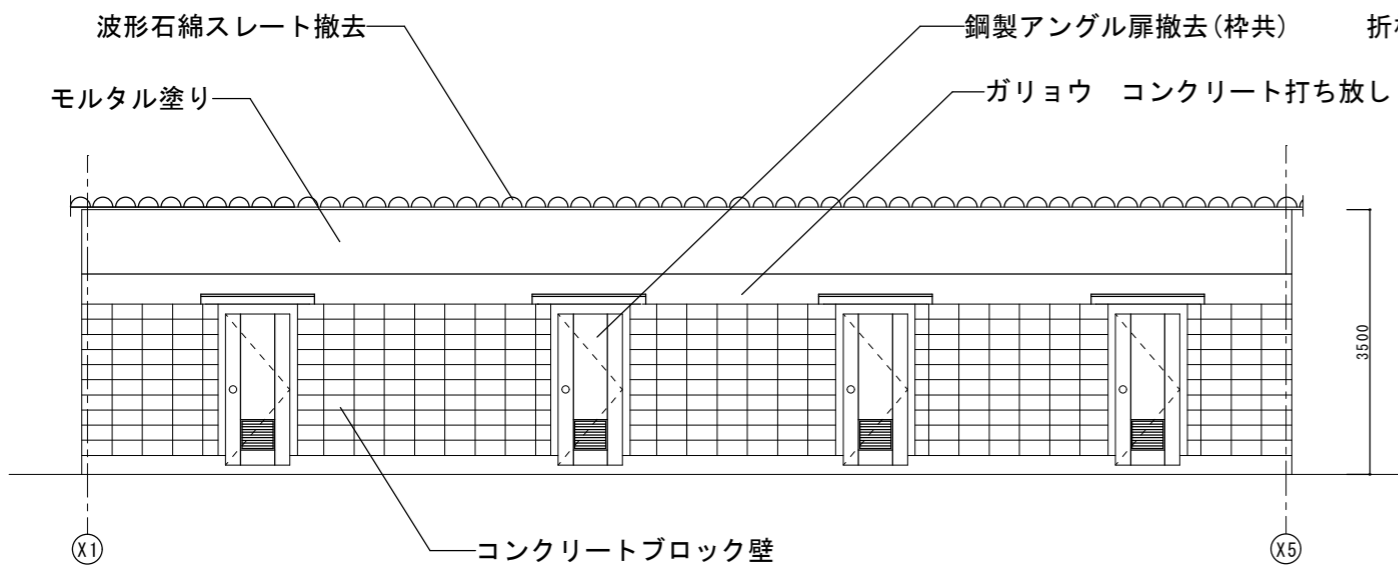


薬品庫 平面図 S=1/100 (改修前)

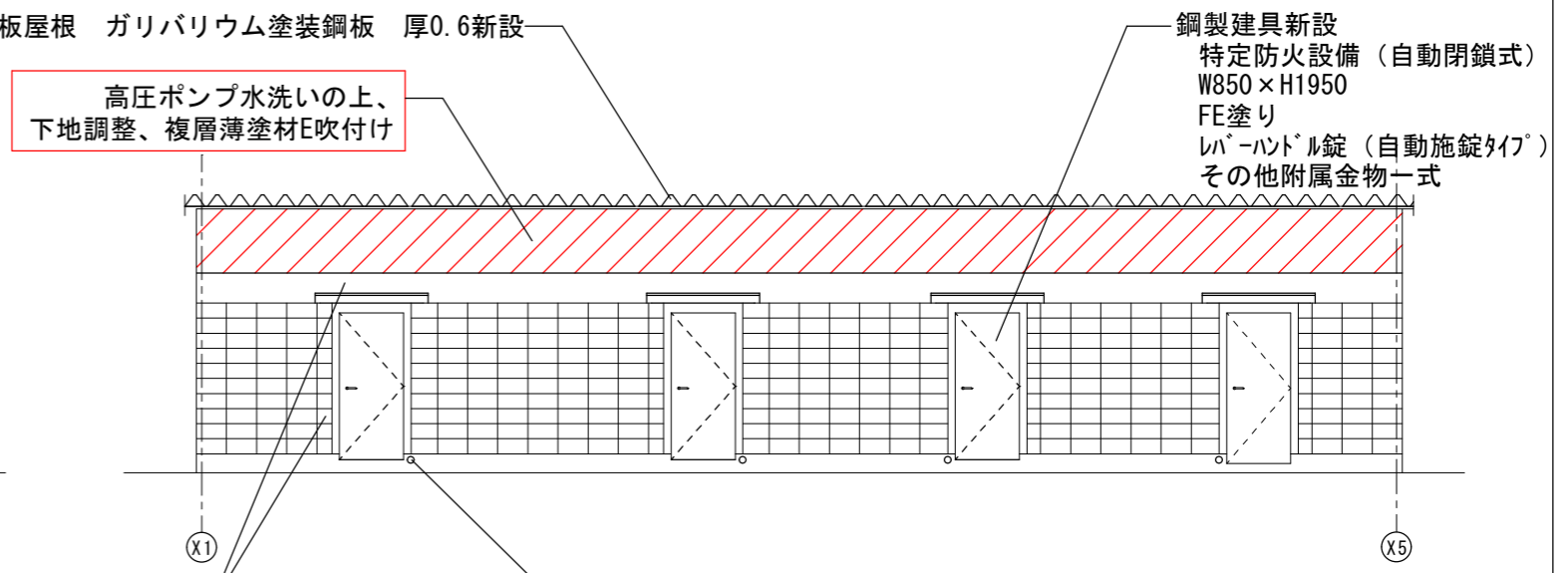


薬品庫 平面図 S=1/100 (改修後)

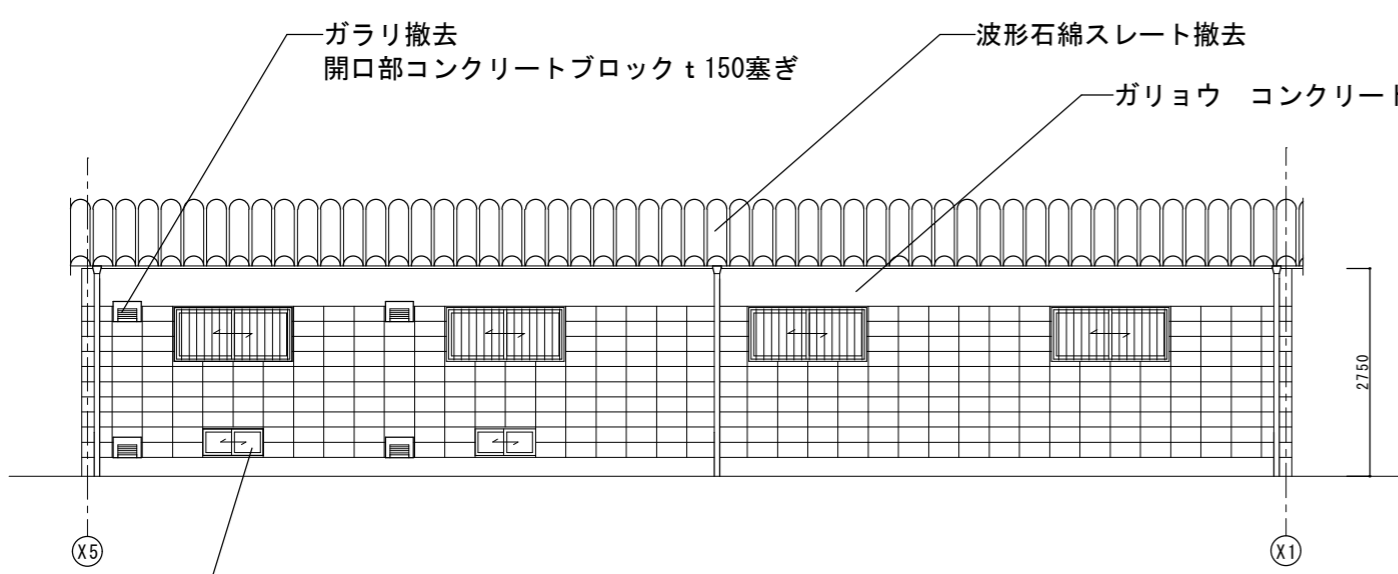
工事名			山梨大学 (武田1) 薬品庫等改修工事			図面名称・縮尺	薬品庫 平面図・仕上表		1/100	図面番号
			部長	課長	補佐	担当	<input type="checkbox"/> 特記 <input checked="" type="checkbox"/> A意匠 <input type="checkbox"/> C外講 <input type="checkbox"/> S構造			A-2
			平成26年 9月							



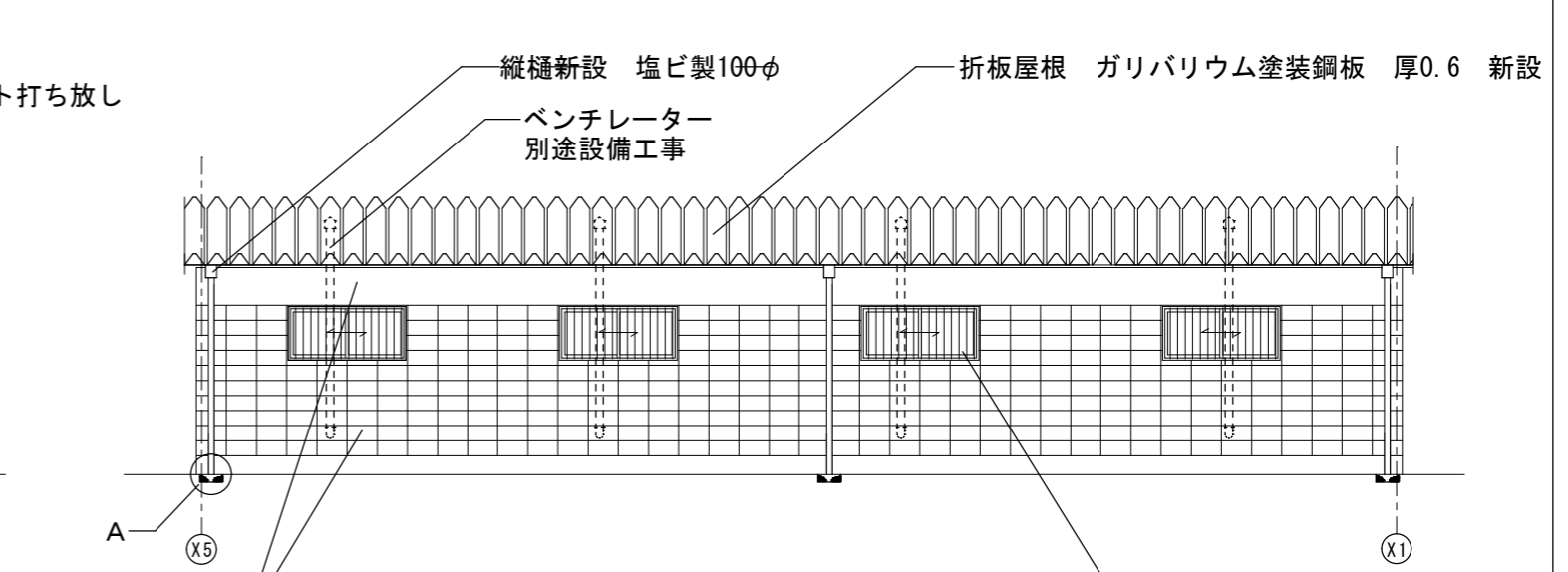
薬品庫 南側立面図 S=1/100 (改修前)



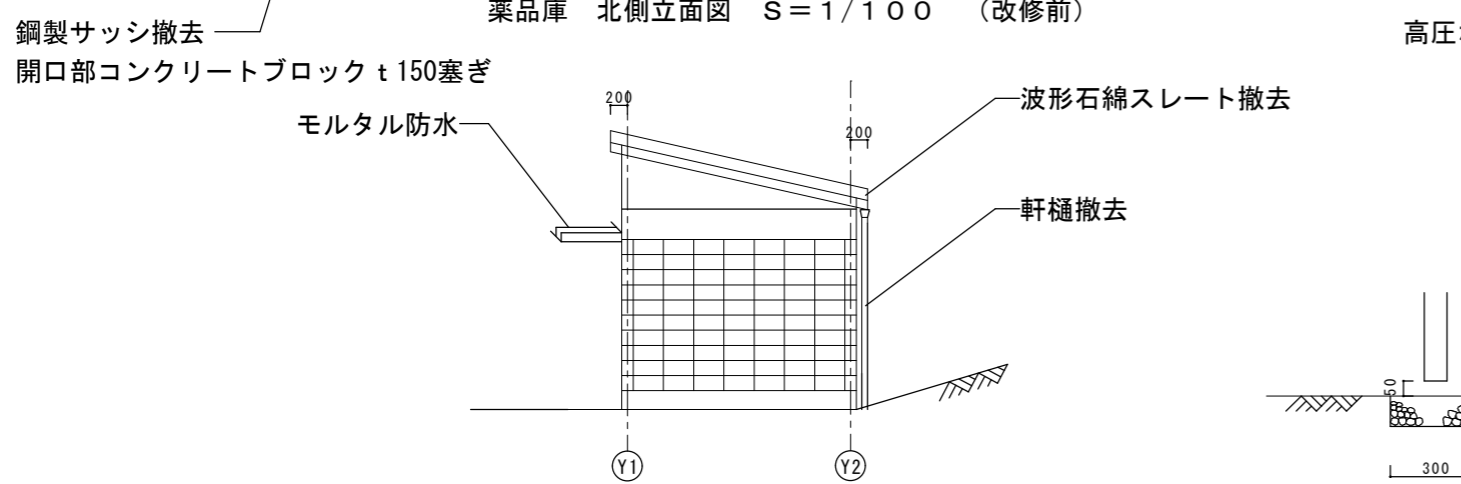
薬品庫 東側立面図 S=1/100 (改修後)



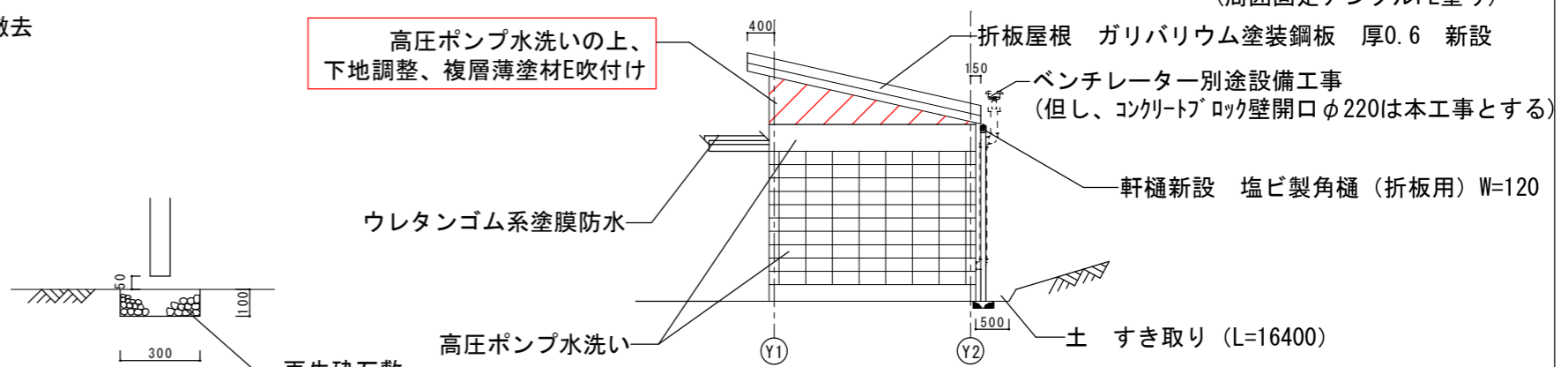
薬品庫 北側立面図 S=1/100 (改修前)



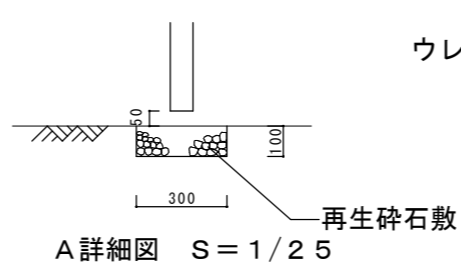
薬品庫 北側立面図 S=1/100 (改修後)



薬品庫 東側立面図 S=1/100 (改修前)



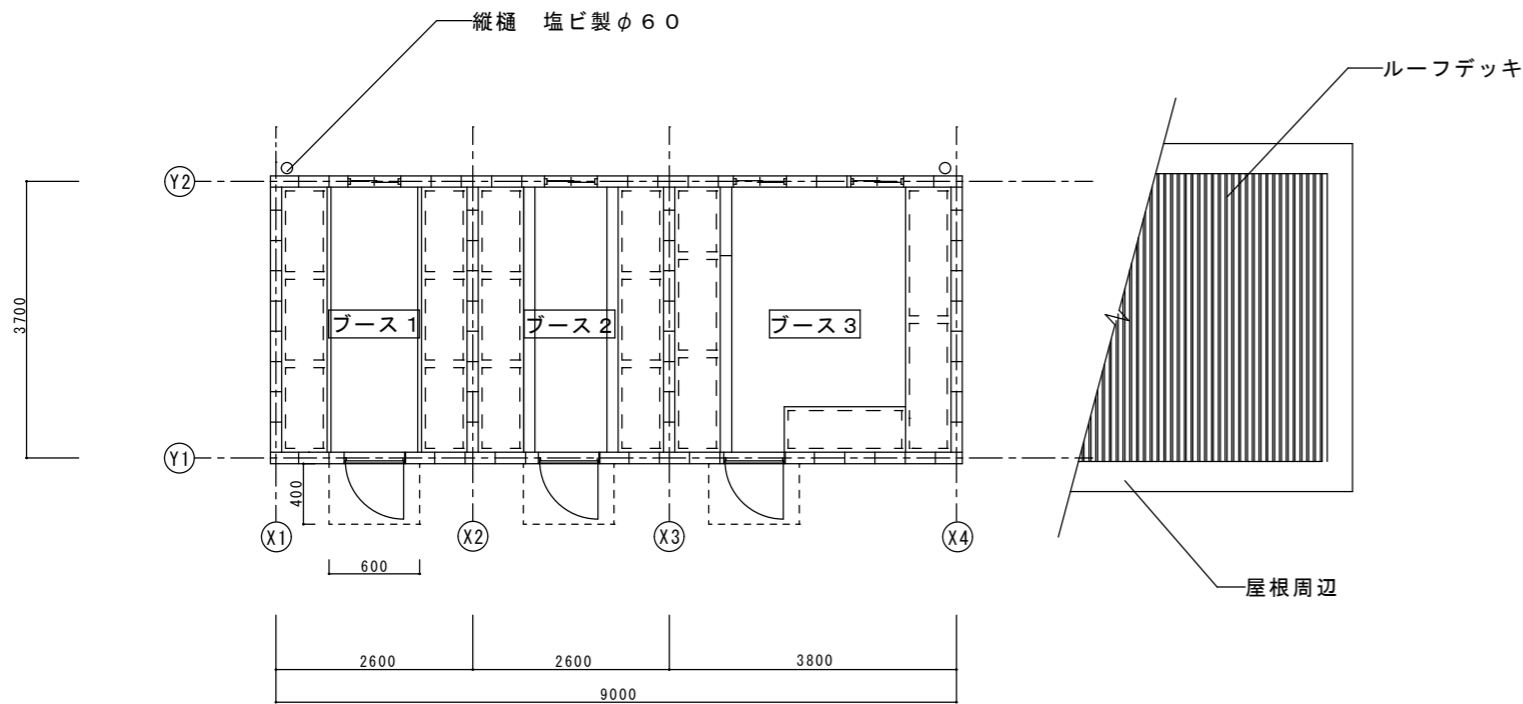
薬品庫 東側立面図 S=1/100 (改修後)



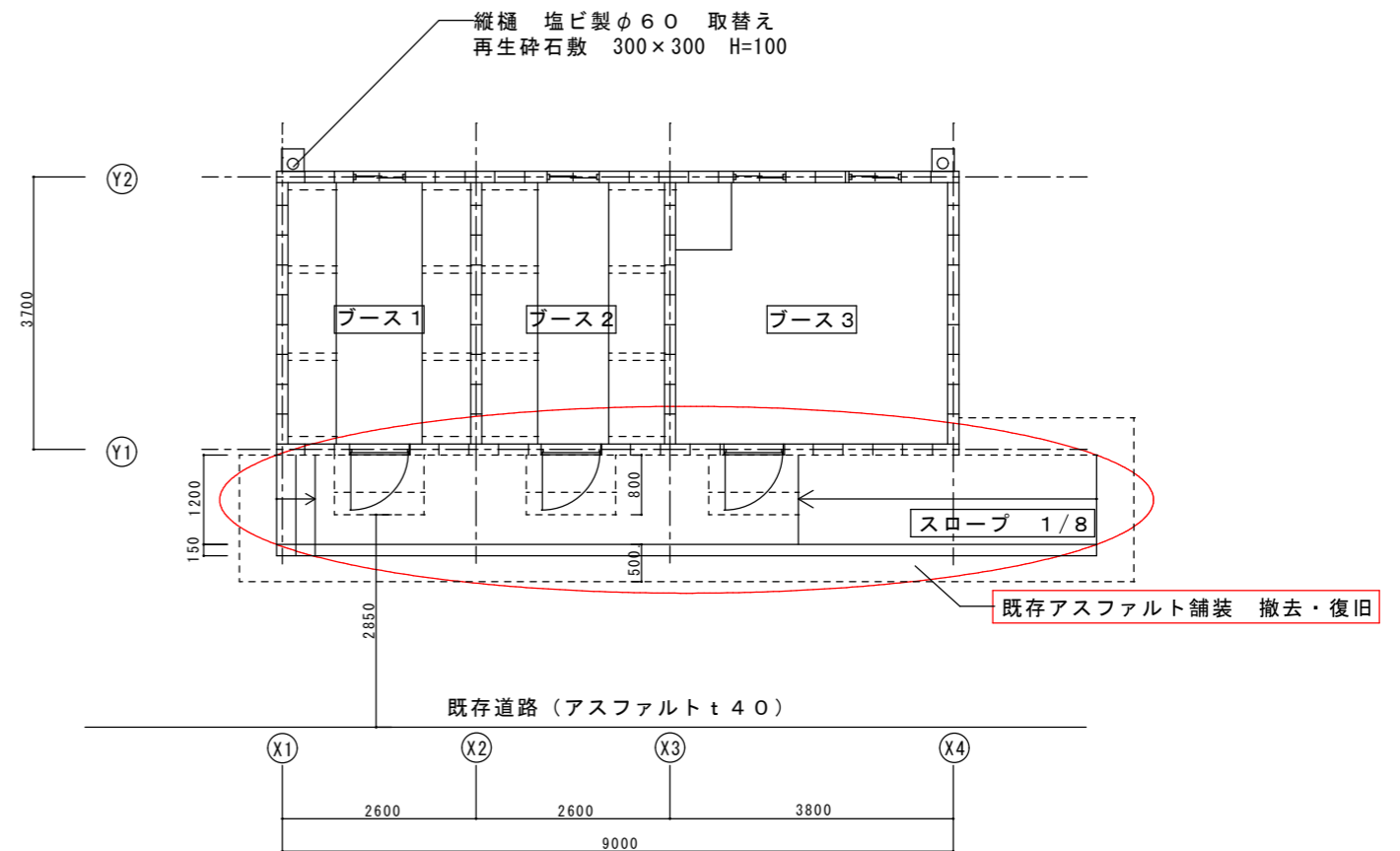
山梨大学 施設・環境部	工事名 山梨大学(武田1)薬品庫等改修工事				図面名称・縮尺	薬品庫 立面図 建具表	1/100	図面番号
	部長	課長	補佐	担当	平成26年 9月	<input type="checkbox"/> 特記 <input checked="" type="checkbox"/> A意匠 <input type="checkbox"/> C外講 <input type="checkbox"/> S構造	A-3	

外部仕上表						
屋根	改修前 : ルーフデッキ H=88	外部窓	改修前 : 鋼製窓	縦樋	改修前 : 塩ビ製φ60	
	改修後 : 耐候性塗料塗替え (DP) (下地処理共)		改修後 : SOP塗替え (下地処理共)		改修後 : 塩ビ製φ60取替え	
外壁	改修前 : コンクリートブロック壁 モルタル塗り	屋根周辺	改修前 : コンクリート屋根	外巾木	改修前 : -	
	改修後 : 既設高圧ポンプ水洗いの上、外装薄塗材E吹付け		改修後 : ウレタンゴム製塗膜防水		改修後 : 高圧ポンプ水洗い	
外部扉	改修前 : 鋼製扉撤去	外部庇	改修前 : モルタル防水			
	改修後 : 鋼製アングル扉新設		改修後 : ウレタンゴム製塗膜防水			

内部仕上表								
階	室名	床		壁		天井		備考
		改修前	改修後	改修前	改修後	改修前	改修後	
1	ブース1	コンクリート打ちはなし	防塵塗料塗り (下地処理共)	コンクリートブロック壁	EP塗替え (棚扉共)	屋根表わし	既存のまま	鋼製棚撤去
	ブース2	コンクリート打ちはなし	防塵塗料塗り (下地処理共)	コンクリートブロック壁	EP塗替え (棚扉共)	屋根表わし	既存のまま	鋼製棚撤去
	ブース3	コンクリート打ちはなし	防塵塗料塗り (下地処理共)	コンクリートブロック壁	EP塗替え (棚扉共)	屋根表わし	既存のまま	鋼製棚撤去

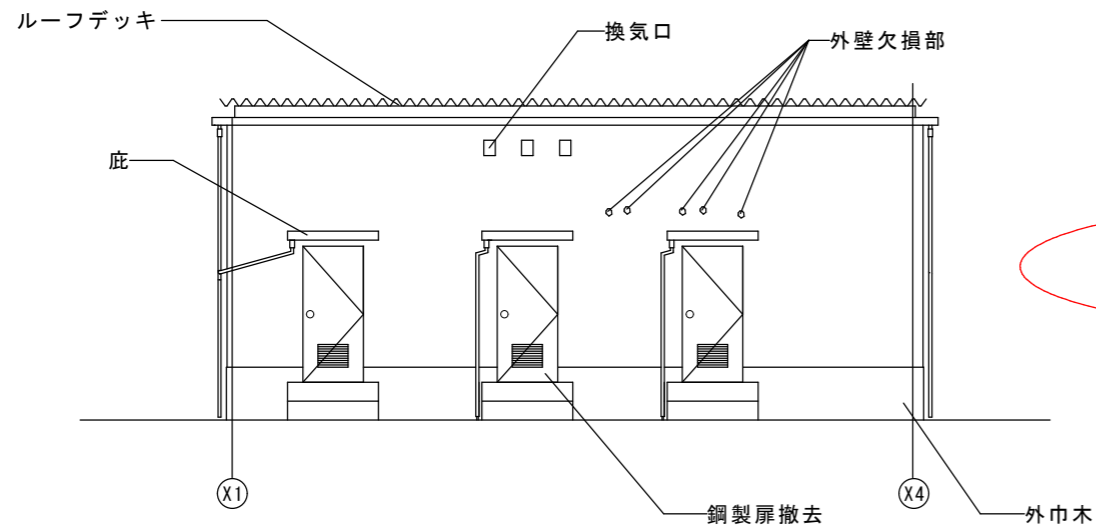


倉庫 平面図 S=1/100 (改修前)

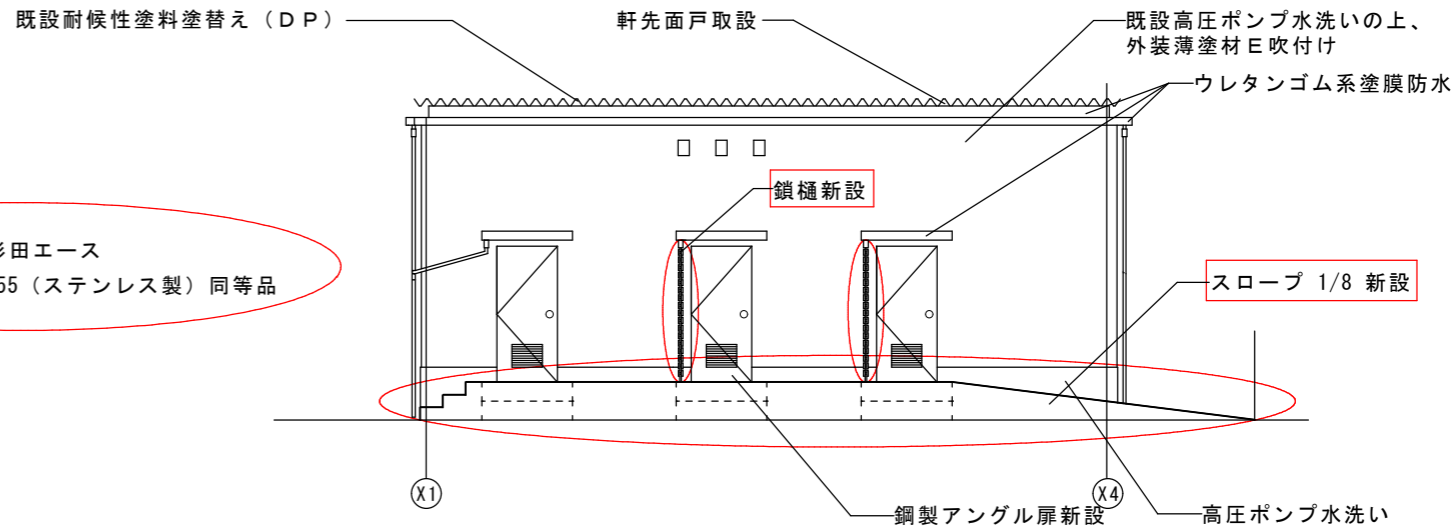


倉庫 平面図 S=1/100 (改修後)

工事名				山梨大学 (武田1) 薬品庫等改修工事		図面名称・縮尺	倉庫 平面図・仕上表	1/100	図面番号
山梨大学 施設・環境部				部長	課長	補佐	担当	平成26年 9月 <input type="checkbox"/> 特記 <input checked="" type="checkbox"/> A意匠 <input type="checkbox"/> C外講 <input type="checkbox"/> S構造	A-5

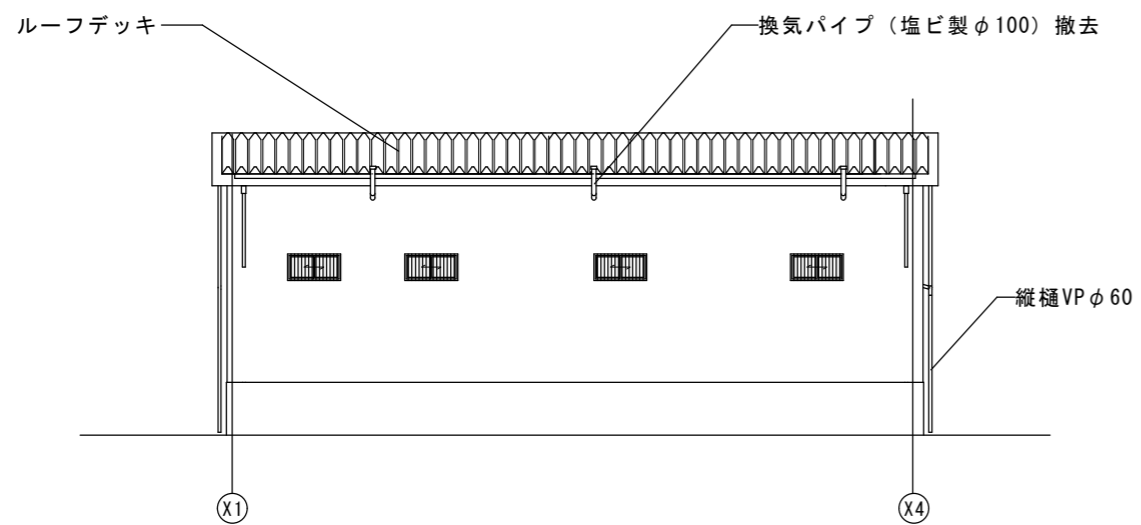


倉庫 南側立面図 S=1/100 (改修前)

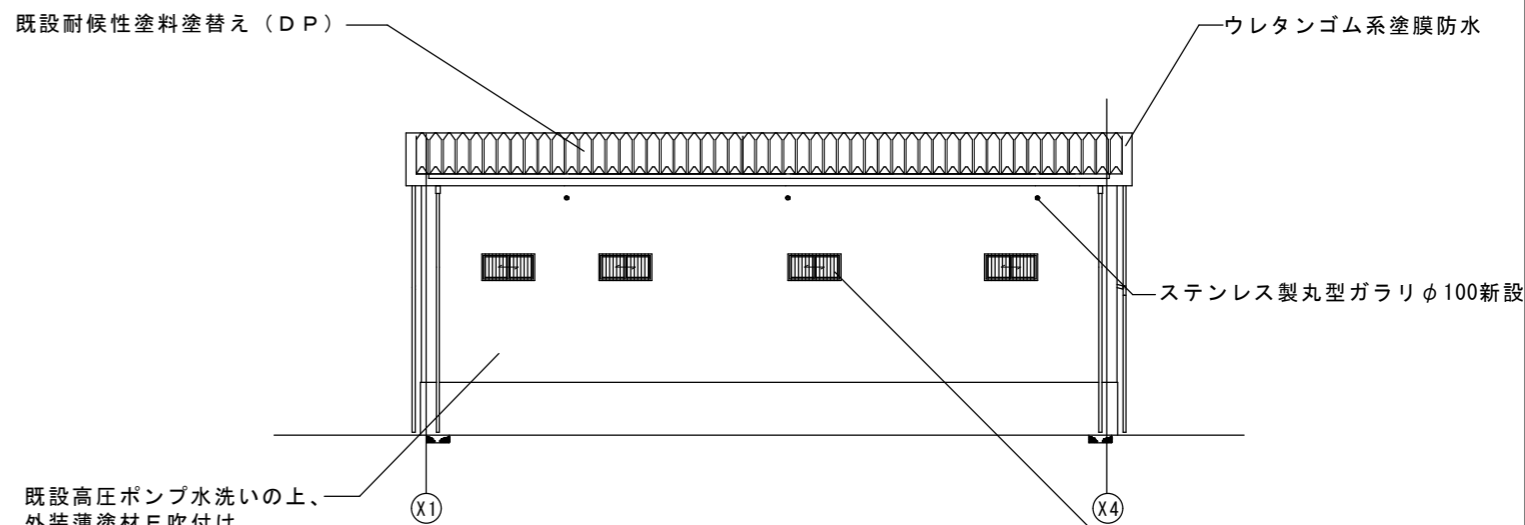


倉庫 南側立面図 S=1/100 (改修後)

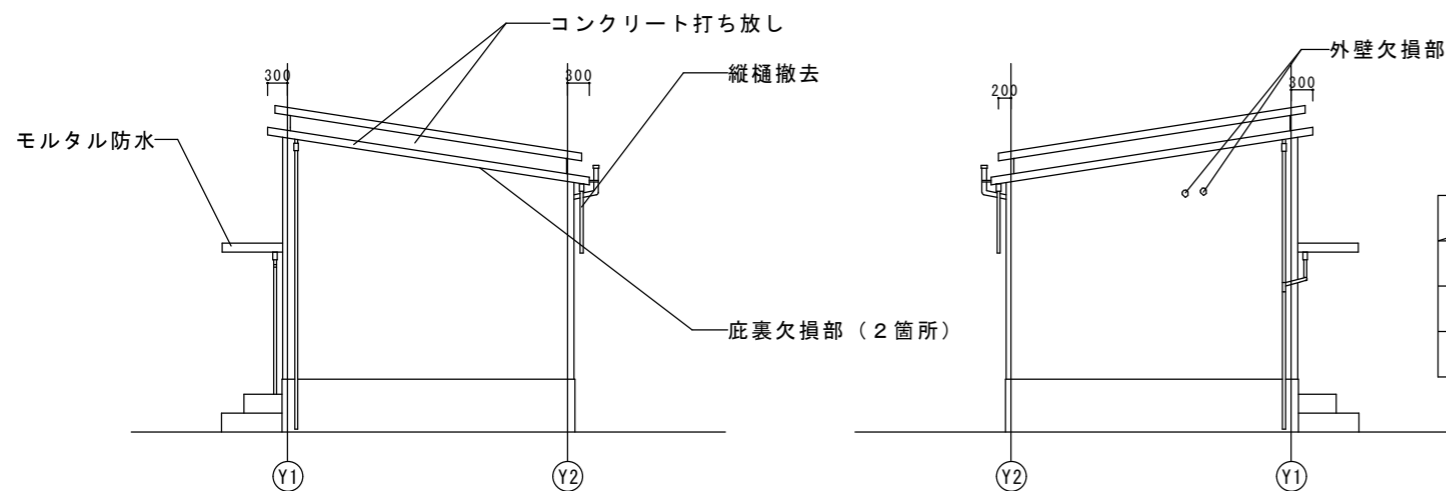
鎖樋 メーカー/杉田エース
品番/A101-55 (ステンレス製) 同等品



倉庫 北側立面図 S=1/100 (改修前)



倉庫 北側立面図 S=1/100 (改修後)

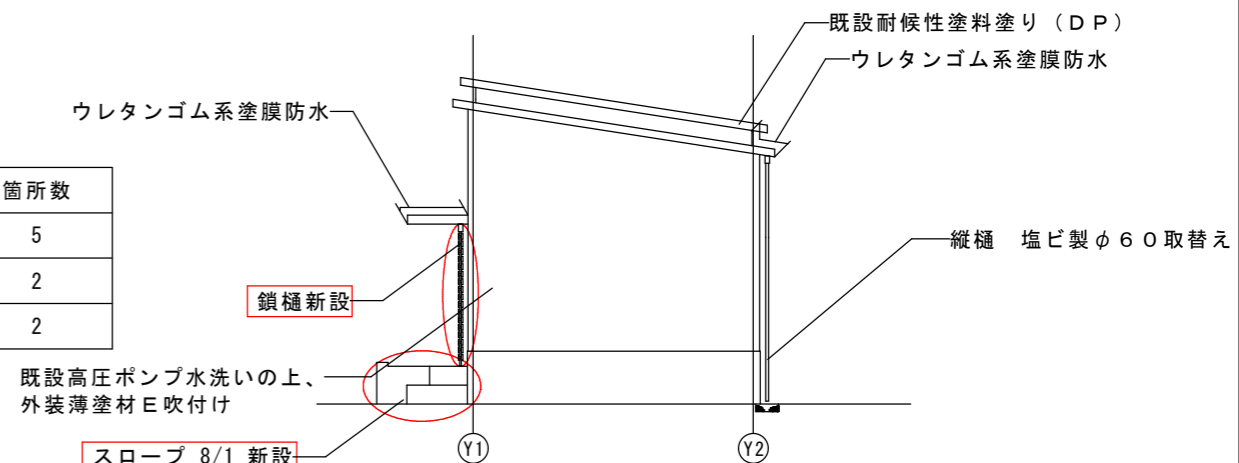


倉庫 東側立面図 S=1/100 (改修前)

倉庫 西側立面図 S=1/100 (改修前)

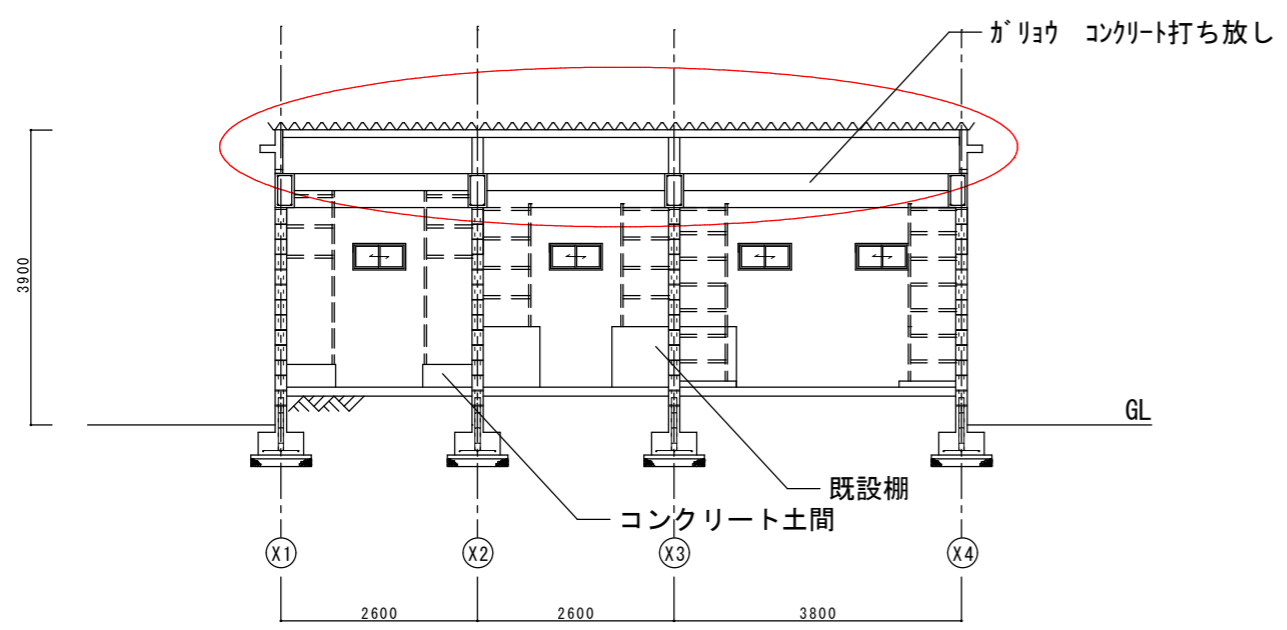
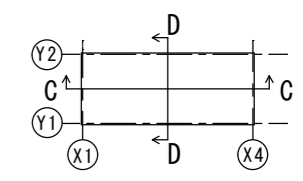
欠損部

	寸法	箇所数
南側立面図	100×100	5
東側立面図	100×100	2
西側立面図	100×100	2

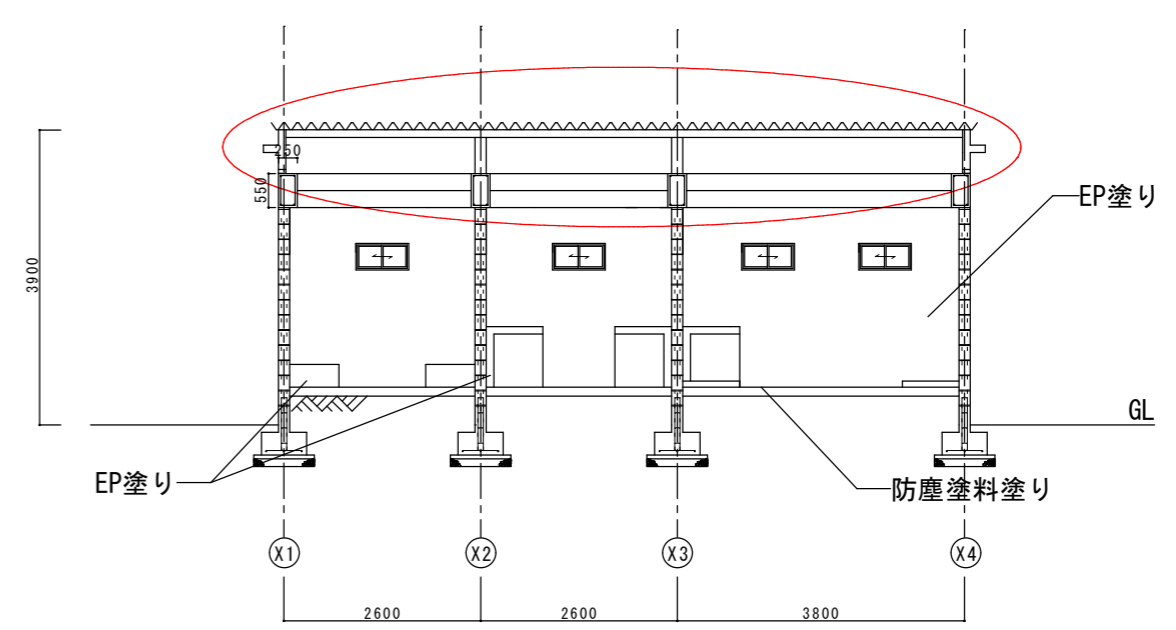


倉庫 東側立面図 S=1/100 (改修後)

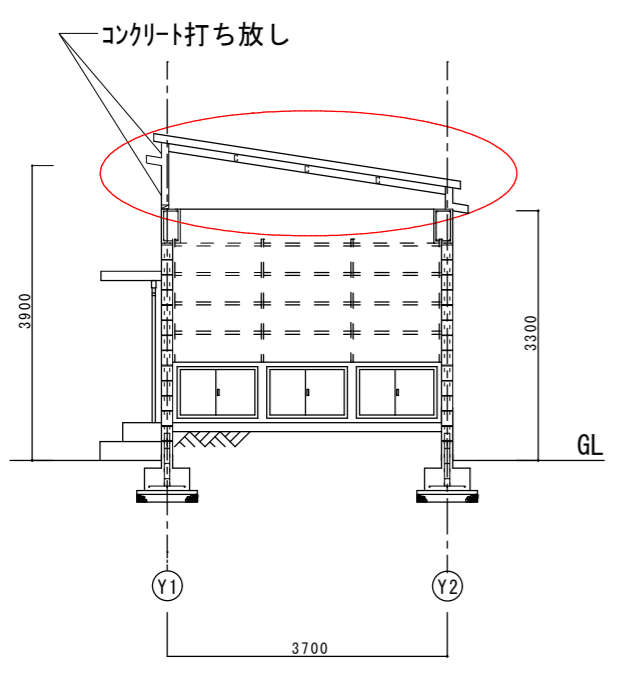
工事名				山梨大学 (武田1) 薬品庫等改修工事				図面名称・縮尺	倉庫 立面図	1/100	図面番号		
山梨大学 施設・環境部				部長	課長	補佐	担当	平成26年 9月	<input type="checkbox"/> 特記	<input checked="" type="checkbox"/> A意匠	<input type="checkbox"/> C外講	<input type="checkbox"/> S構造	A-6



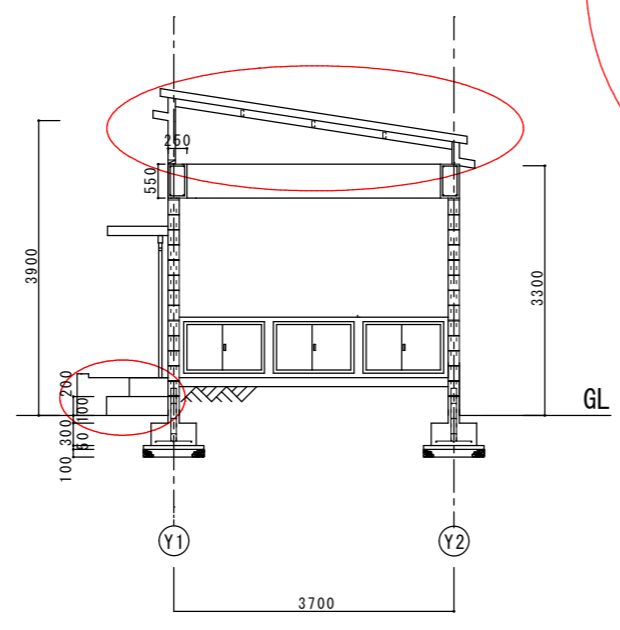
C-C断面図 S=1/100 (改修前)



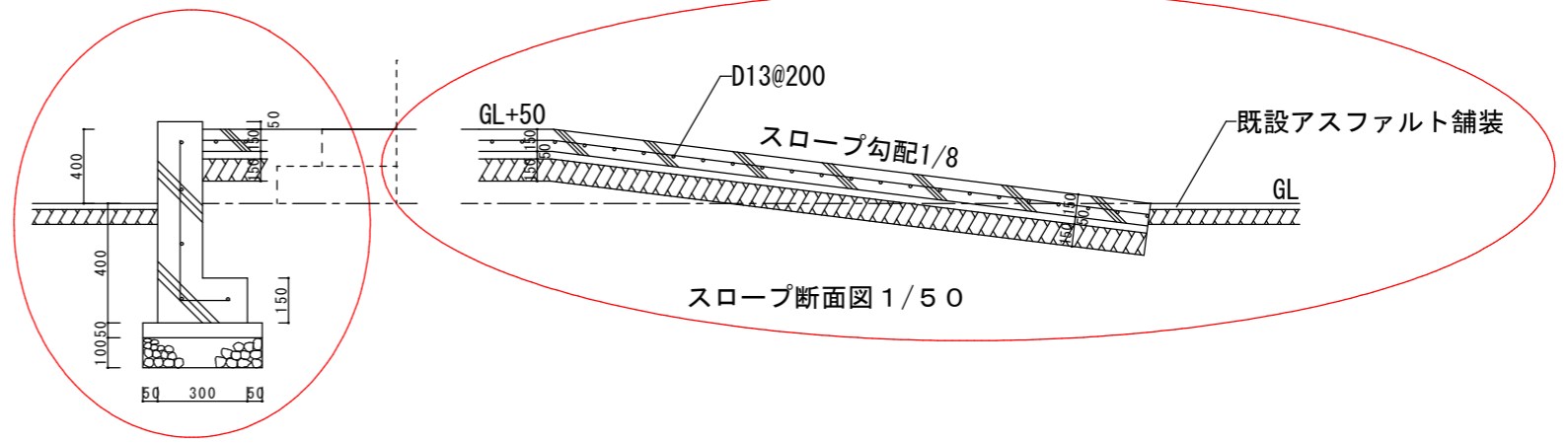
C-C断面図 S=1/100 (改修後)



D-D断面図 S=1/100 (改修前)



D-D断面図 S=1/100 (改修後)



スロープ断面図 1/50

名称・箇所数		片開き戸・3箇所		片開き戸・3箇所		引き違い窓・4箇所	
形状・寸法		撤去 (枠共)		新設 (枠共)		塗替え	
仕上げ	見込み	FE塗り	90	FE塗り	90		70
硝子						網入り硝子	
金物		握り玉 付属金物一式		レバーハンドル錠 付属金物一式		付属金物一式	
備考							

工事名		山梨大学 (武田1) 薬品庫等改修工事				図面名称・縮尺	倉庫 断面図・建具表	1/100	図面番号
山梨大学 施設・環境部		部長	課長	補佐	担当	平成26年 9月	<input type="checkbox"/> 特記 <input checked="" type="checkbox"/> A意匠 <input type="checkbox"/> C外講 <input type="checkbox"/> S構造		A-7